

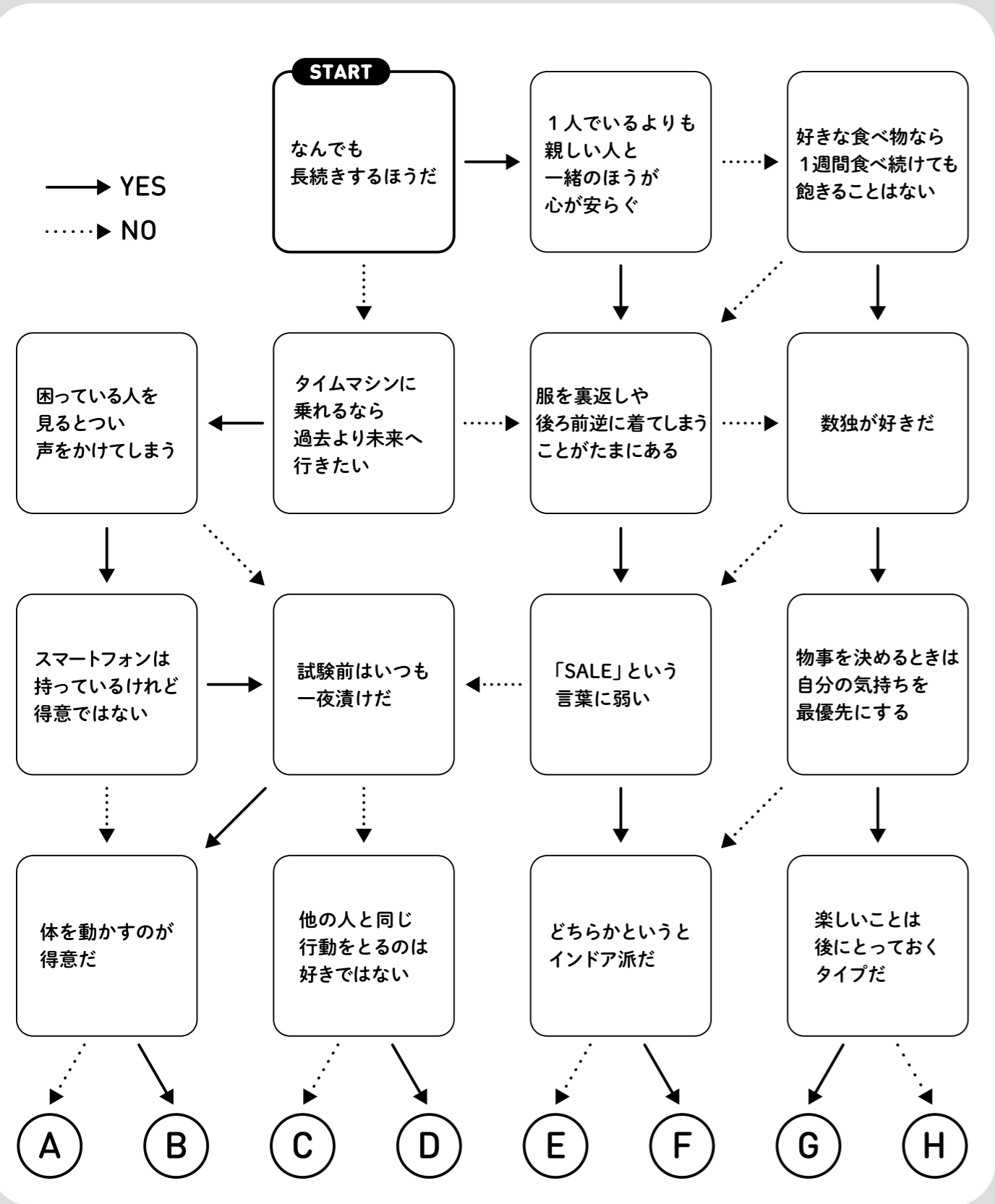
# 音楽診断

第3回

## オーケストラ楽団員編

教育芸術社オリジナルでお届けする音楽診断企画の第3弾。今回は、オーケストラの楽器の中から、あなたの性格にぴったり合う楽器を診断します。

監修・解説 = 佐伯茂樹  
Text = Shigeki Saeki



あなたのタイプは？

### A 目立けれど待つことの多い トロンボーン

金管楽器のトロンボーンはとても大きな音を出すことができるので、オーケストラや吹奏楽の曲のクライマックスで活躍しますが、オーケストラの曲では、そこに至るまでは出番がなくて休んでいることも少なくありません。ベートーヴェンやブラームスの交響曲では、30分近く音を出さずに待っていなければいけません。



### B 演奏から運搬まで体力のいる コントラバス

コントラバスは、ヴァイオリンと同じ弦楽器ですが、大きいもので高さが2メートル近くあるので、演奏するときには他の楽器よりも身体を大きく動かさなければいけません。右手で行う弓の操作もそうですが、音の高さを変える左手の指の移動も大変です。さらに、練習が終わったあとは、自分で楽器を持って帰らなければいけません。



### C みんなときれいにそろろうかが問われる ヴァイオリン

オーケストラでのヴァイオリンは、同じパートを大勢で弾いているので、他の人と弾き方を合わせなければいけません。管楽器とは違って、弓の動かし方が他の奏者と違うと聴いている人にバレてしまうので、練習前に弓の動かし方を決めて楽譜に書き込んでいます。そこでリーダーになるのがコンサートマスターです。



### D さまざまなキャラクターを演じる クラリネット

クラリネットは、美しい音だけでなく、おどけた音やはやな音を出すことができます。また、オーケストラでは、曲によって長さの異なる楽器を持ち替えるので、さまざまな音色を楽しみたいという人に向いているでしょう。とても表情豊かな楽器なので、オーケストラだけでなく、吹奏楽やジャズなど幅広いジャンルで活躍します。



### E 外向的で野外で吹くのも好き トランペット

古くから戦争の合図や王様の到着で吹き鳴らされてきたトランペットは、オーケストラの中でもひととき目立つ存在です。クライマックスやファンファーレでは特に目立ちますが、その分、吹き損じをしたときも目立ってしまいます。そういう細かいことは気にせず、アウトドアで遊ぶのが好きな人が多いかもしれません。



### F 休みの日もリード作りに励む オーボエ

木管楽器のオーボエは、とてもデリケートな美しい音を出せますが、楽器の構造が複雑で繊細なので、いつも掃除をして、きちんと調整しておかなければなりません。また、音色を左右するリードも自分で作る人が多く、休みの日や楽器を吹いていない休憩中もリード作りに時間を割いて、外で遊ばないという人がけっこういます。



### G ここぞというクライマックスを築く ティンパニ

打楽器のティンパニは、出すことのできる音が限られているので、特定の音しか出番がありません。そのため、休んでいることも多く、じっと待っていなければなりません。でも、曲が盛り上がる場所では、誰よりも重要な役目として、決める音を担当します。そのため、ティンパニ奏者は「第二の指揮者」とも呼ばれています。



### H 美しい音で合奏に花を添える フルート

木管楽器のフルートは、とても澄んだ明るい音が特徴で、小鳥の鳴き声の描写が得意です。低い音域ではあまり大きな音が出せませんが、高い音域では鋭い音を出すことも可能で、よく聞こえます。美しい旋律を担当することも少なくありませんが、合奏で飾りのような音を吹くことも効果的です。



佐伯茂樹(音楽評論家)

音楽評論、音楽研究、古典トロンボーン奏者、オフィクレイド奏者。早稲田大学卒業後、東京藝術大学でトロンボーンを学ぶ。ミュージック・ベン・クラブ・ジャパン会員。『音楽の友』『バンドジャーナル』で連載執筆中、『レコード芸術』月評担当(以上音楽之友社)。NHKテレビの『N響アワー』『ららら』クラシック』に出演。著書に『名曲の真相』(アカデミア・ミュージック)、『名曲の暗号』(音楽之友社)、『おもしろ管楽器事典』(ヤマハミュージックメディア)、『カラー図解 楽器から見るオーケストラの世界』(河出書房新社)などがある。